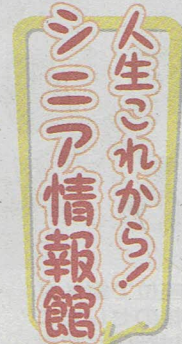




# 幸 齡 社 会



シニアライフアドバイザー

松本すみ子

うららかな春の訪れを感じ、旅への関心が高まっている方も多いのではないだろうか。

一方で、旅をしたいけれど、足腰が弱っている、外出先でのトイレが気になる、車椅子では難しいなど、諦めている人も。また、高齢の親を連れて行きたくても、1人での介助は不安だという人もいます。

## 旅を楽しむ

でも、すぐに諦める必要はありません。旅行会社の中には、参加者が70歳以上や車椅子の方を対象としたツアーを用意している会社もあります。そして、国内だけでなく、海外へ行けるツアーもあるのです。

さらに、旅行中の手助けなどを担う「トラベルヘルパー」を養成し、派遣してくれるNPO法人もあります。故郷の墓参りや親孝行の旅をしたいなど、さまざまなニーズがあるようです。

もちろん、トラベルヘルパー等の利用には、さらなる費用が掛かります。でも、自分や家族に大切な思い出を残すことを考

## 高齢でも諦めないで

えれば、たまには奮発するのもいいかもしれません。

自分がシニア世代でも、まだまだ元気ならば、お世話する側に回ることもできるでしょう。

60代のある友人からは、障がい者のお世話役として沖縄旅行に同行した話を伺いました。

車椅子の方が参加するツアー



で「サンゴ礁の青い海を一度でいいから見たい」「南国で海水浴をしてみたい」といった希望を、皆でかなえてあげたいと企画したそうです。

参加者たちは水着に着替え、サポーターの方の介助によって車椅子に座ったまま海に入り、大歓声だったといいます。

同行した彼女自身、「自分が高齢になり、たとえ体が不自由になっても、すぐに旅を諦める必要はないことが分かった」と教えてくれました。

多くの人が支え合うことで、誰も諦めることなく、やりたいことをやれる——そんな社会に向かっているようです。